

現地補修工事

ガラスが破損した！破損箇所に適した施工方法で対応いたします。

ガラスライニング面が破損した場合、その破損箇所、破損の程度により、現地補修できます。現地で補修できないものは、再焼成修理、あるいは更新となります。

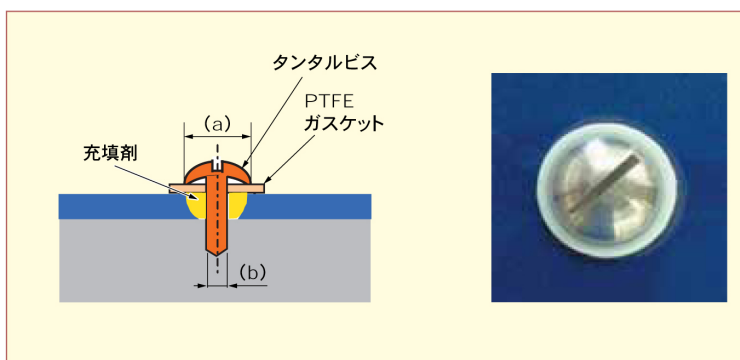
現地補修は恒久的なものではありませんので、継続的な監視が必要です。恒久対策としては再焼成修理、あるいは更新となります。

特殊技術を身につけた技術者がスピーディーに対応いたします。

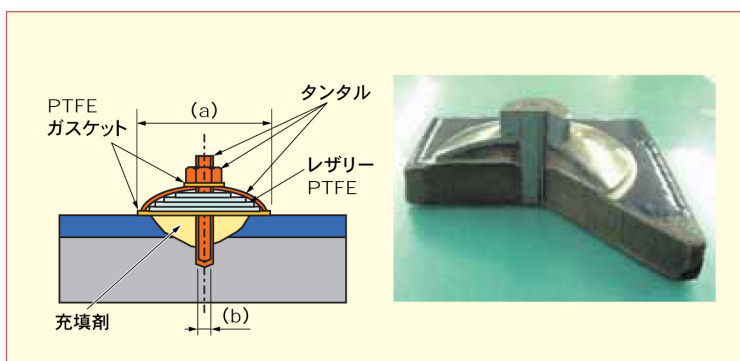
【本体のガラスライニング面が破損】

破損した本体のガラスライニング面の補修は、耐食金属（Ta：タンタル）による補修方法があります。

ワンピースプラグ法



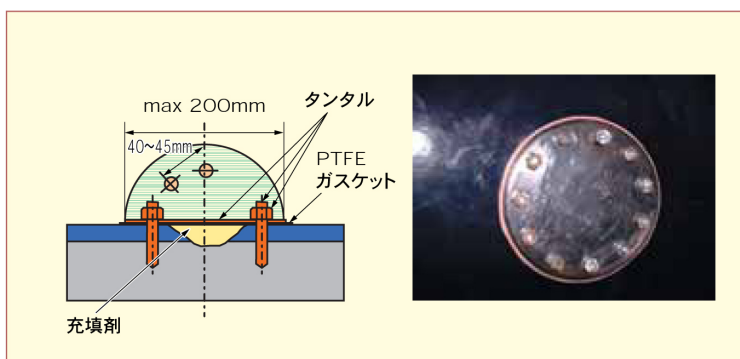
スリーピース法



施工法	サイズ	呼び径 (a)	ネジ寸法 (b)
ワンピースプラグ法		13	M4
		20	M6
スリーピース法		30	M6
		40	M6
		50	M8
		60	M8
		80	M8

スリーピース法で対応できない場合はシート法になりますが最大φ200mm程度となります。

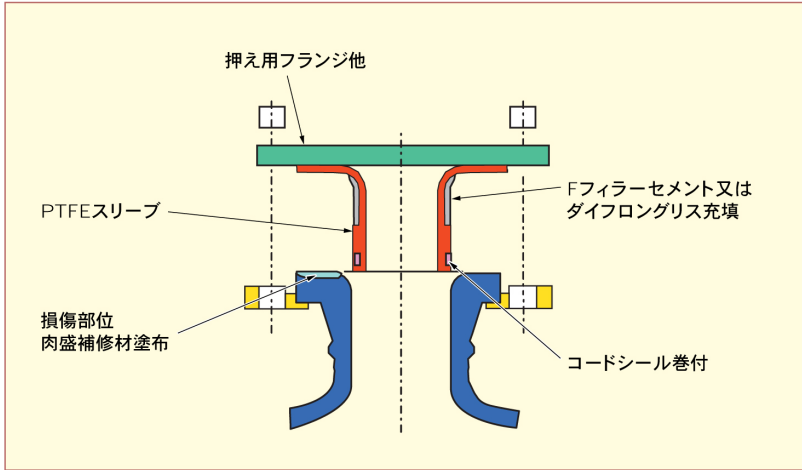
シート法



【ノズルフランジ面のガラスが破損】

ノズルのフランジ面やノズルR部が破損した場合には、PTFE製スリーブにより補修できます。
 (ノズル内径はスリーブの厚み分小さくなりますが、使用可能です)

PTFEスリーブ補修



*マンホールも対応します。別途ご相談ください。
 *場合によりガスケットを入れることがあります。

標準型 PTFE スリーブ
呼称 (ノズル径×H寸法)
40A × 50H
50A × 50H
80A × 50H
100A × 50H
125A × 75H
150A × 75H
200A × 75H
250A × 75H

*標準的な PTFE 製スリーブは
在庫しております。



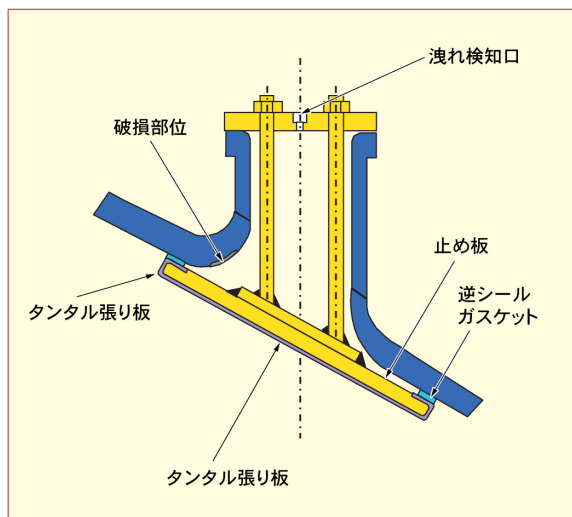
PTFEスリーブを装着

【ノズルの奥やR部が破損】

ノズル内部やノズル取付R部付近が破損した場合に、耐食金属による止め板・スリーブにより補修できます。

止め板補修

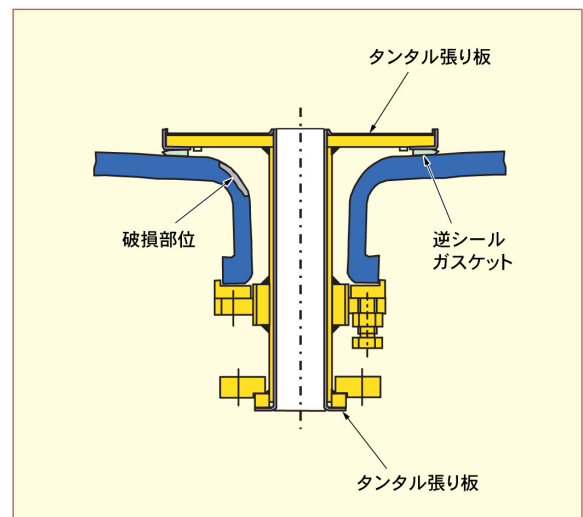
(ノズル使用はできなくなります)



*補修用金属スリーブは都度製作となりますので、納期は別途お問い合わせください。
 *上図はタンタル張りの例です。別途、その他ハステロイ等耐食金属でも製作可能です。

スリーブ補修

(下鏡部：ノズル径は小さくなりますが使用可能となります)



注意事項

- ・缶内作業をします。内容液、付着物は取り除いてください。又、缶内換気を十分に行い安全な作業環境を確保してください。
- ・補修には充填剤を使用するものがあります。補修後の硬化時間を考慮ください。硬化時間についての詳細は、弊社担当者にご確認ください。
- ・破損の箇所および状況により現地補修できない場合があります。